

コロナを乗り越えた先の未来へ!

県では「選ばれる青森」の実現をめざし、「人口減少」、「人手不足」、「2025年超高齢化時代」、「平均寿命・健康寿命」といった本県の大きな課題に取り組んできました。その一方で、長期化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、社会のあらゆるところに影響を与え、これらの課題についても、より複雑化・深刻化しています。

このため、県民の命と暮らしを守るという強い決意のもと、2022年度はウィズコロナ、アフターコロナの環境変化を踏まえながら、特に「ウェルネス」、「デジタル」、「グリーン」の3つの視点に力を入れて施策を展開し、健康と経済の両立に総力を挙げて取り組みます。

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」とは…

2019年度から2023年度まで5年間の県の取組方針をまとめたものです。「選ばれる青森」には、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」、食や観光をはじめ本県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざす、という意味を込めています。

青森県の重要課題



人口減少

若者・女性の県外流出



人手不足

さまざまな産業で慢性的不足



2025年超高齢化時代

保健・医療・福祉ニーズ増大



平均寿命・健康寿命

働き盛り世代の男性死亡率の高さ

ウィズコロナ・アフターコロナを踏まえて**3**つの視点に力を入れて施策を展開



ウェルネス

事業者・県民一人ひとりに寄り添ったきめ細かな対応、社会的な孤独・孤立への対応



デジタル

急速な官民デジタル化への対応



グリーン

脱炭素社会実現に向けた対応

学ぶ場所、働く場所、生きる場所として「選ばれる青森」の実現

ウェルネスの視点を踏まえた主な取組

さまざまな悩みを抱える女性への支援



孤独・孤立に悩む女性の課題を解決するため、適切な支援機関・相談窓口につなげるための女性支援総合案内の仕組みづくりに取り組みます。

高齢者のフレイル予防の推進



コロナ禍で進行する高齢者の認知症やフレイルの予防・対策に向けて、老人クラブや「つどいの場」などにおいて、e-sports（イースポーツ）などのICTを活用した取組を推進します。
※フレイル…年をとって体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態

ヤングケアラー支援体制構築

福祉、介護、医療、教育などの関係機関が連携し、ヤングケアラーの実態調査や早期発見、支援体制づくりに取り組みます。

※ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

ひとり親家庭のサポート



ひとり親向けのワンストップ相談体制を充実させるほか、ひとり親家庭を応援する企業表彰制度を創設します。

コロナ禍で悩みを抱える方への支援



コロナの影響で悩みを抱えた方に必要な情報を届ける体制づくりを行います。